

## 令和7年11月分 退院患者分析表（疾病大分類別・性別）

令和7年12月1日現在

大分類	ICDコード	男					女					合計					構成比		
		一般		高齢者		後期高齢者	計	一般		高齢者		後期高齢者	計	一般		高齢者		合計	
		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上		64歳以下	65~69	70~74	75~79	80歳以上	
01 感染症及び寄生虫症	A00-B99					1	1				1	1	2	0	0	0	1	2	3 9.09%
02 新生物	C00-D48						0					1	1	0	0	0	0	1	1 3.03%
03 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
04 内分泌、栄養および代謝疾患	E00-E90				1			1					0	0	0	1	0	1 3.03%	
05 精神および行動の障害	F00-F99						0					1	1	0	0	0	0	1 3.03%	
06 神経系の疾患	G00-G99						0			1			1	0	0	1	0	1 3.03%	
07 眼および付属器の疾患	H00-H59						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
08 耳および乳様突起の疾患	H60-H95						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
09 循環器系の疾患	I00-I99					1	1			1			1	2	0	0	1	2 3 9.09%	
10 呼吸器系の疾患	J00-J99				2	3	5	1			2	4	7	1	0	0	4	7 12 36.36%	
11 消化器系の疾患	K00-K93				1		1			1	2	2	5	0	0	1	3	6 18.18%	
12 皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99						0	1					1	1	0	0	0	1 3.03%	
13 筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99						0				1	1	2	0	0	0	1	1 2 6.06%	
14 肾尿路生殖器系の疾患	N00-N99						0						1	1	0	0	0	1 1 3.03%	
15 妊娠、分娩および産じょく	O00-O99						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
16 周産期に発生した病態	P00-P96						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
17 先天奇形、変形および感色体異常	Q00-Q99						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
18 症状、微候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
19 損傷、中毒および他の外因の影響	S00-T98						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
20 傷病及び死亡の外因	V01-Y98						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
21 健康状態に影響をおぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99						0						0	0	0	0	0	0 0.00%	
22 特殊目的用コード	U					1	1						0	0	0	0	1	1 3.03%	
合計		0	0	1	3	6	10	2	0	3	6	12	23	2	0	4	9	18 33 100.00%	
構成比（男女別）		0.00%	0.00%	10.00%	30.00%	60.00%	100.00%	8.70%	0.00%	13.04%	26.09%	52.17%	100.00%						
構成比（対全体）		0.00%	0.00%	3.03%	9.09%	18.18%	30.30%	6.06%	0.00%	9.09%	18.18%	36.36%	69.70%	6.06%	0.00%	12.12%	27.27%	54.55%	100.00%

## 疾病分類報告（分析報告）

## 1 合計で多い疾病

①呼吸器系の疾患 12件(36.36%) ②消化器系の疾患 6件(18.18%)

## 2 男女別で多い疾患

男性 ①呼吸器系の疾患

女性 ①呼吸器系の疾患 ②消化器系の疾患

## 3 年齢別構成

男性 ①65~74歳 (10.00%) ②75歳以上 (90.00%) ③80歳以上 (60.00%) ※患者数は前月比9人減。年齢構成は、75歳以上が9割占め、80歳以上は6割であった。

疾病別では、肺炎などの呼吸器系の疾患が多く、全体の半数を占めた。

女性 ①65~74歳 (13.04%) ②75歳以上 (78.26%) ③80歳以上 (52.17%) ※患者数は前月比1人減。年齢構成は、75歳以上が8割近く占め、80歳以上は5割以上であった。

疾病別では、誤嚥性肺炎などの呼吸器系の疾患が一番多く3割以上占め、次に大腸ポリープなどの消化器系の疾患が多く2割以上を占めた。

全体 ①65~74歳 (12.12%) ②75歳以上 (81.82%) ③80歳以上 (54.55%) ※患者数は前月比10人の減。年齢構成は、75歳以上が8割以上を占め、うち75歳から79歳が

前月比13.32ポイント上昇した。疾患別では、肺炎などの呼吸器系の疾患が全体の36.36%を占めた。